

平成30年度事業計画

基本方針

わが国の経済情勢は、国際経済の流動化等の影響により厳しい状況にある中でデフレからの脱却にむけた各種政策の効果が発現し、景気は緩やかに回復基調の動きが見られるものの、中小企業や地場産業界においては依然として厳しい状況が続いています。

このような変動の激しい経済情勢にあって地域が一丸となり、地域産業活性化のための取り組みが求められています。

そうした中、当センターは昨年11月に和歌山市の玄関口である和歌山駅西口のわかちか広場へ移転しました。和歌山駅前という立地を活かし、なお一層の斬新さに富んだ事業が求められており、地域産業の支援機関として地場産業振興の中心的役割を果たすべく、関係団体との連携を密にし、交流の橋渡し役を担うとともに情報の収集と発信に努めます。また、販路の開拓や拡大を目指した見本市や物産展への出展機会の提供など、センターとして当地域製品のPR、販路開拓を更に推進するとともにブランド化への支援に努める。

重点事業

1. 管理運営事業

- (1) 公益法人の運営については、効率的かつ合理的管理に努める。
- (2) センター職員の研修については、接遇及び人権研修などの各種研修に積極的に参加するとともにセンター内研修を強化するなど、職員の資質向上に努める。

2. 需要開拓事業

(1) 大消費地での「和歌山物産展の開催」

大消費地で和歌山地域の観光PRとタイアップした物産展を開催し、消費者に製品や製品の優秀さを広くPRすることにより販路の開拓と拡大を図る。また、大消費地は情報収集の絶好の機会であり、そこで得た情報を新商品開発や今後の販路開拓の取り組みに活かしていく。

(2) 物産展の開催

- ① 和歌山地域の優れた地場産業製品や製品の展示即売・実演・体験を行い、広くPRするとともにマーケティングの場とする一方、消費者ニーズの把握にも努める。
- ② 地域内外において「和歌山物産展」を開催し、地場製品の需要開拓及び観光PRを行う。

(3) 各種イベントへの出展参加

各地域の地場産業振興センターが主催する物産展や各種イベントに積極的に参加することにより地場産品を広くPRし、需要開拓を図る。

(4) 講演会の開催

地場産業経営者及び従業員を対象に販路開拓を目的とした講演会やセミナーを開催し、企業の新たな取り組みの促進に努める。

3. アンテナショップ事業

- (1) アンテナショップによる地場産品のPRと販路開拓、需要促進を行うとともにスペースを十分活用するため、出展業者を募集し、店頭PR販売を行う。
- (2) ネット販売によるPRと販路開拓、需要促進を行う。
- (3) 近畿管内地場産業振興センター連携事業によるショッピングモールでのPRと販路開拓、需要促進を行う。

4. 情報収集提供事業

ホームページによる情報の収集や提供に努める。

5. その他の事業

- (1) 消費者等に地場産品の良さをアピールするため、地場産品の展示に努める。
- (2) 関係市町との連携を密にするとともに関係団体の支援活動や事業協力を推進する。